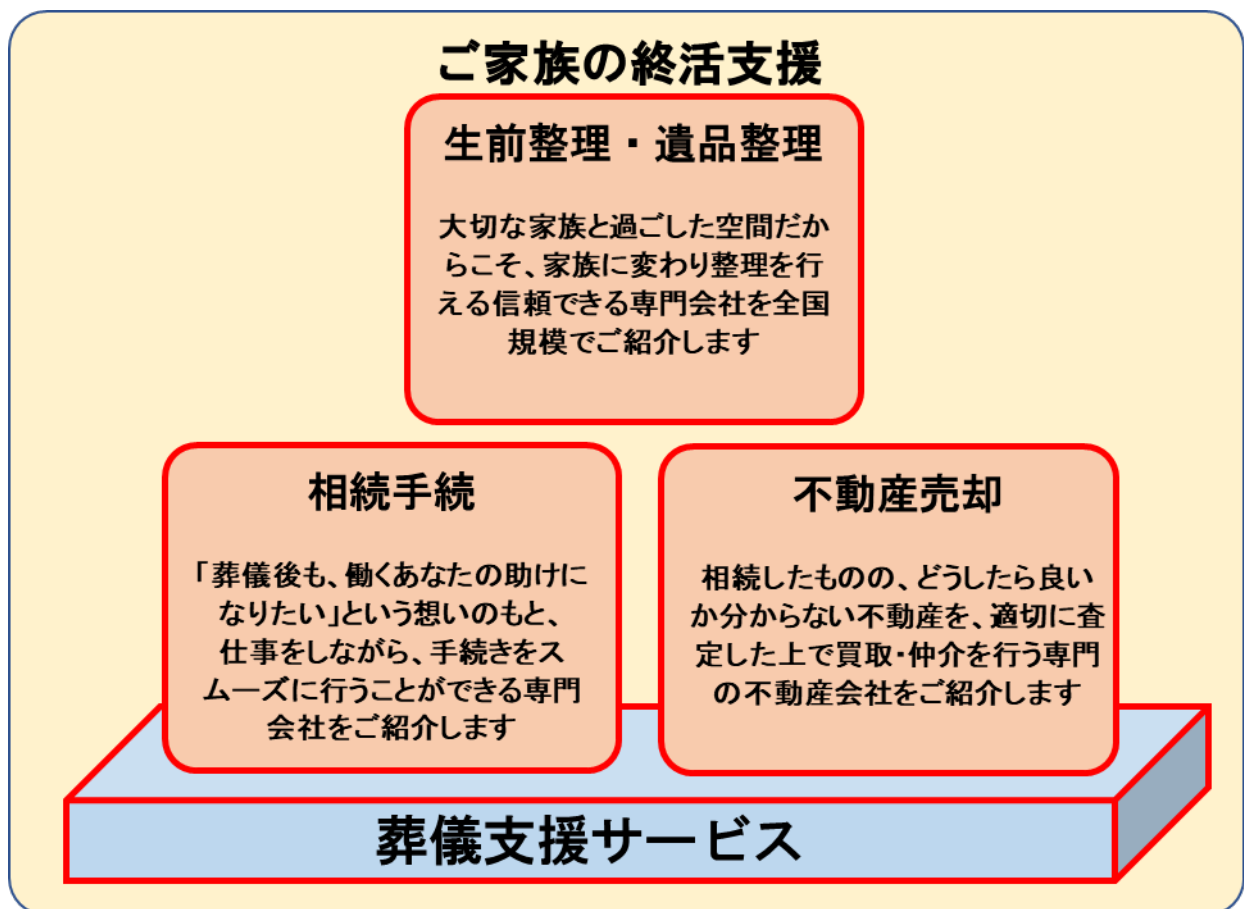


## 葬儀・終活支援サービスのご案内（4 回シリーズ）-②

日野自動車福祉共済基金から「葬儀支援サービス・相続手続支援」のご案内です。

(株)全国儀式サービスと契約し、従来の葬儀支援サービスに加え、'23～ご家族の「終活」支援策を導入しています。4 回シリーズで制度全般のお知らせをいたします。

[→ きっかけづくりとして次ページをご覧ください。](#)



## 今回のテーマ

～葬儀は「終わり」ではなく「はじまり」～

日野自動車社内報「フロントランナー」（2026 年 5 月号）に掲載された記事をご紹介します。

[→ 詳細は次ページをご覧ください。](#)

【お問い合わせ先】日野自動車福祉共済基金 [fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp](mailto:fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp)

[日野自動車福祉共済基金ホームページ](#)

# お役立ちkikin

#10

葬儀・終活支援の  
ご紹介  
第2回目

「福祉共済基金って、ワタシと関係あるの?お祝い事やお悔やみ事もないし……」

実は“仕事と介護の両立支援”や“ご家族の終活支援サービス”など  
お役に立つことをいろいろ提供しています。

会員の皆様にぜひ知っていただきたいことを、社内報をお借りしてお伝えしていきます。  
前号に引き続き、4回シリーズで「葬儀支援と、ご家族の終活支援制度」についてご紹介します。

## 葬儀は「終わり」ではなく「はじまり」

今回は、本制度が葬儀を起点とした死亡後支援の制度体系であることをご案内しました。

葬儀は故人を見送る大切な時間ですが、同時にご遺族にとっては、  
その後に必要となる様々な対応の入口となるタイミングでもあります。  
では、なぜ葬儀が制度の起点となっているのか。主な理由は以下の通りです。

### 1 気持ちと現実が交差するタイミング

葬儀の時期は、精神的な負担が大きい中で、今後必要となる手続きや整理について考え始める時期でもあります。  
相続手続き、遺品整理、不動産の管理など、この後に続く課題の入口に立つのがこのタイミングです。

### 2 「まず相談しよう」と思える関係が生まれる

葬儀の間では、ご遺族と本制度との距離が最も近くなります。不安や負担が大きい中で関わるからこそ、「何かあれば相談できる」という認識が生まれます。この関係性が、その後の支援につながる前提となります。

### 3 すべてを説明しなくてよい“接点”になる

葬儀の間で、すべての内容を詳しく説明する必要はありません。相続、遺品整理、不動産などは重要な課題ですが、  
その場で判断や説明を求めるものではありません。「葬儀のあとも支援できる制度がある」と伝えておくことが、次の支援につながる接点となります。

本制度において葬儀は、支援の終点ではなく、  
その後の支援へつながる起点として位置付けられています。



全ての情報はホームページにあります!

- 葬儀・終活支援はこちらから…福祉共済基金ホームページ ▶ 葬儀・終活支援バナー

URL <https://www.hinofukushikyosai.jp/#banner>

二次元コード  
<スマホ対応>



- お問い合わせ HIMAILアドレス「福祉共済基金本部事務局」  
(fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp)

担当者不在の場合もありますので、メールでのお問合せにご協力をお願いいたします。

